

# 学習成果基盤型教育 における目標とは

## 教育とは

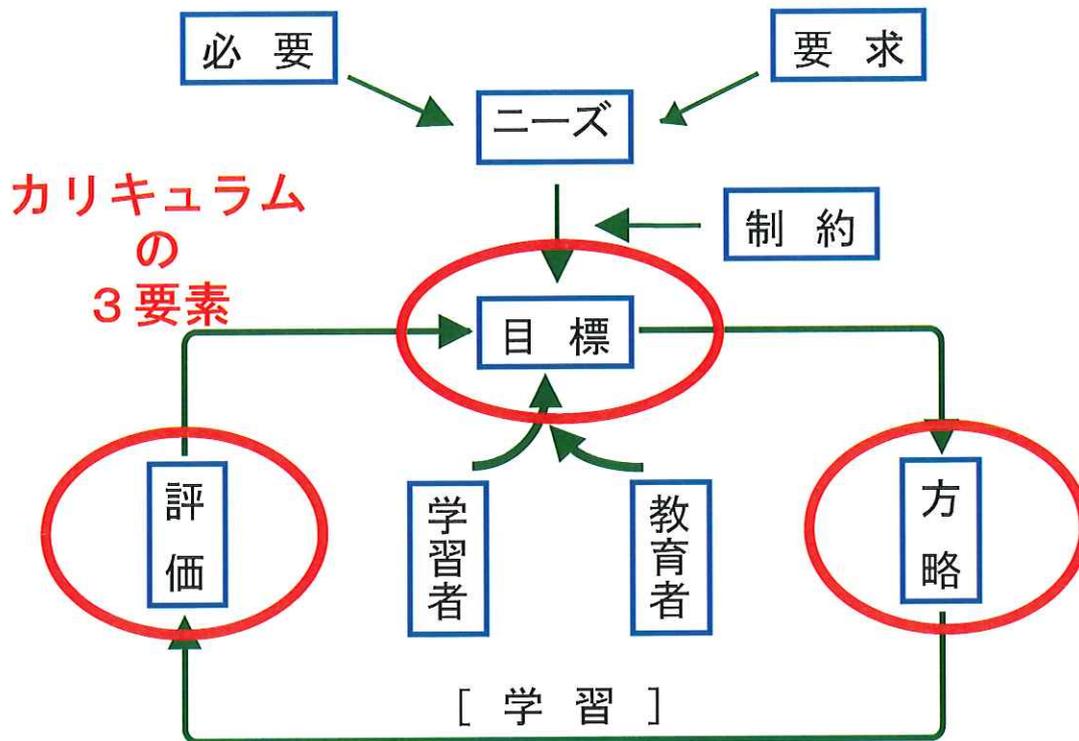
学習者の行動に  
価値ある変化を  
もたらすプロセス



“パフォーマンス”

目的、意思を持った行為・遂行

# 学習のプロセス



## カリキュラムとは

- 教育活動の計画書
- 目標、方略、評価の三要素を明示

学習者はこれに従って学習し、  
アウトカム(学習成果)に到達する。

講義や実習の時間配分表や  
授業時間割ではない！！

# 目標設定の意義

1. 学習者がこれから何を学び、学ぶことによって  
自分が何をできるようになるか、理解できる



モチベーションを刺激する

2. 指導者相互の理解が得やすい
3. 目標がはっきりすることによって、どのように学ぶのかの計画を立てやすい
4. 目標がなければ、到達したか否かの評価はできない

学習成果基盤型教育 (Outcome-based Education (OBE)) における学習目標とは

ハードルを華麗に飛び越す。

パフォーマンス



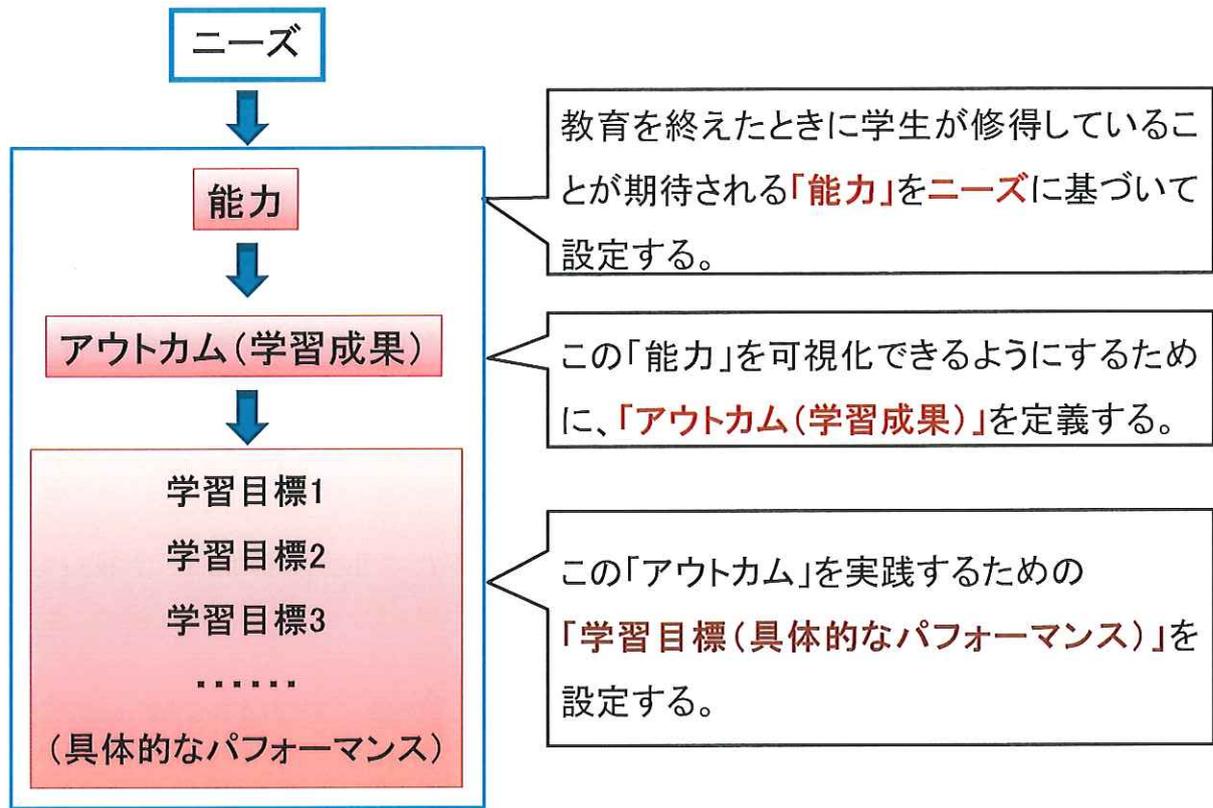
どちらが学習目標としてふさわしいですか？

分割したらパフォーマンスは見れない

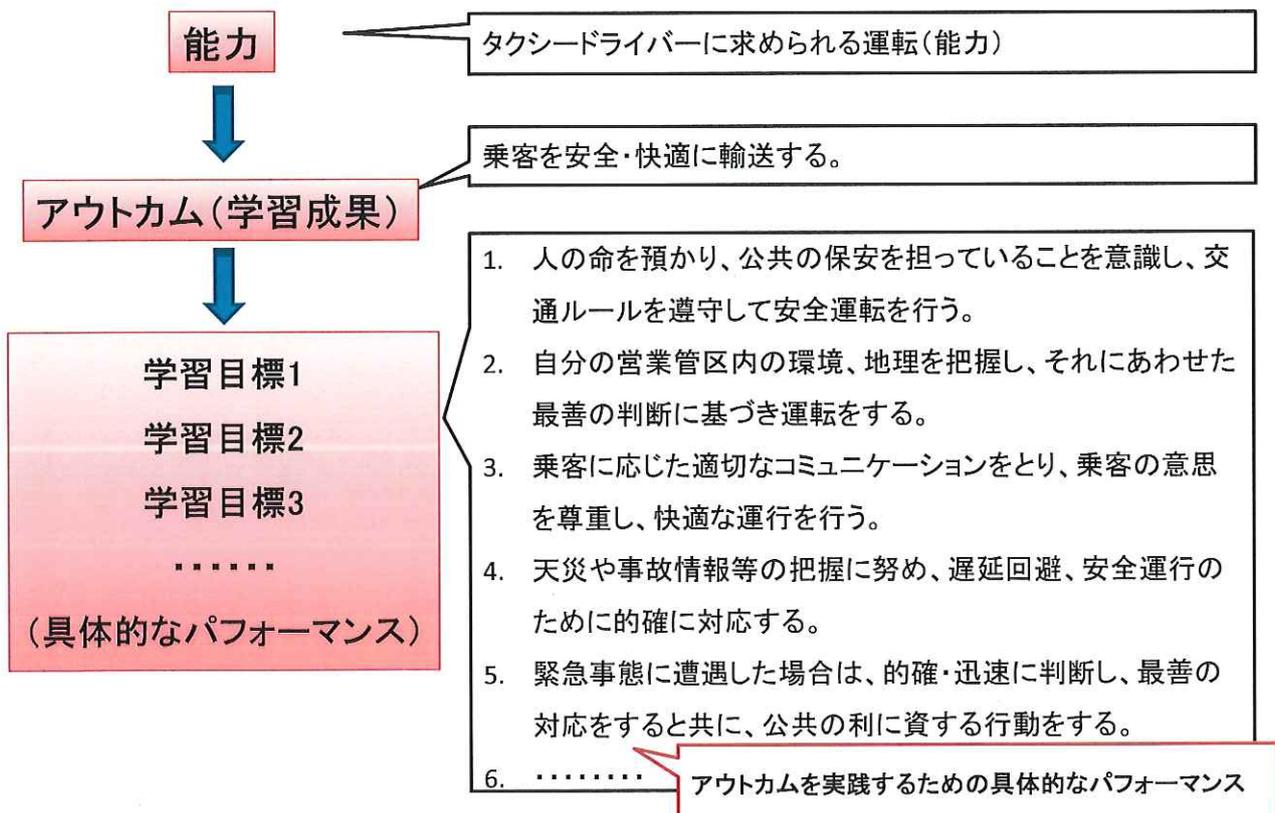
- 歩幅とハードル間隔の関係を説明できる (知識)
- 理想のフォームを説明できる (知識)
- 垂直に50cm飛べる (技能)
- 水平に100cm飛べる (技能)
- 安定した着地ができる (技能)
- 失敗しても再びチャレンジできる (態度)

これらがそれぞれできれば実際にハードルを飛ばせますか

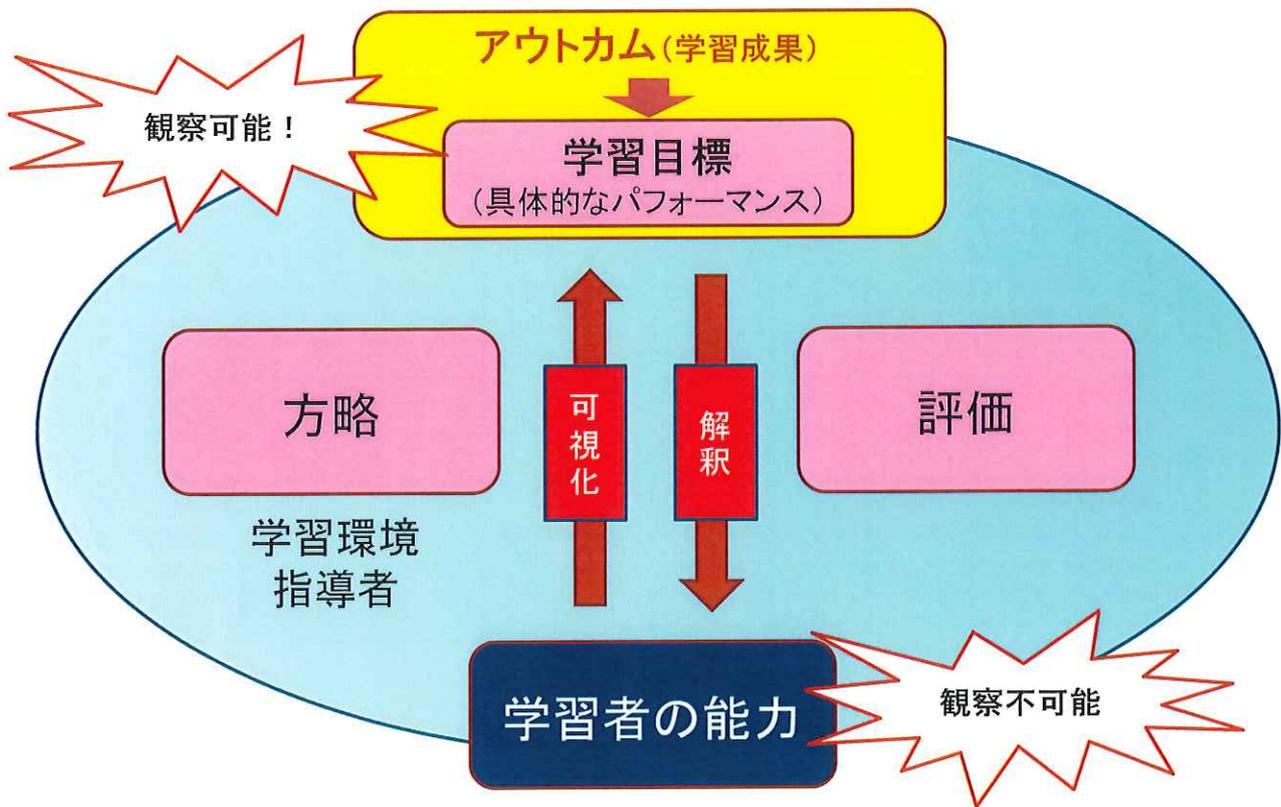
# 学習成果基盤型教育 (Outcome-based Education (OBE)) における学習目標 (具体的なパフォーマンス) 設定の流れ



## 例示: タクシードライバーに求められる運転能力



## 学習成果基盤型教育の考え方



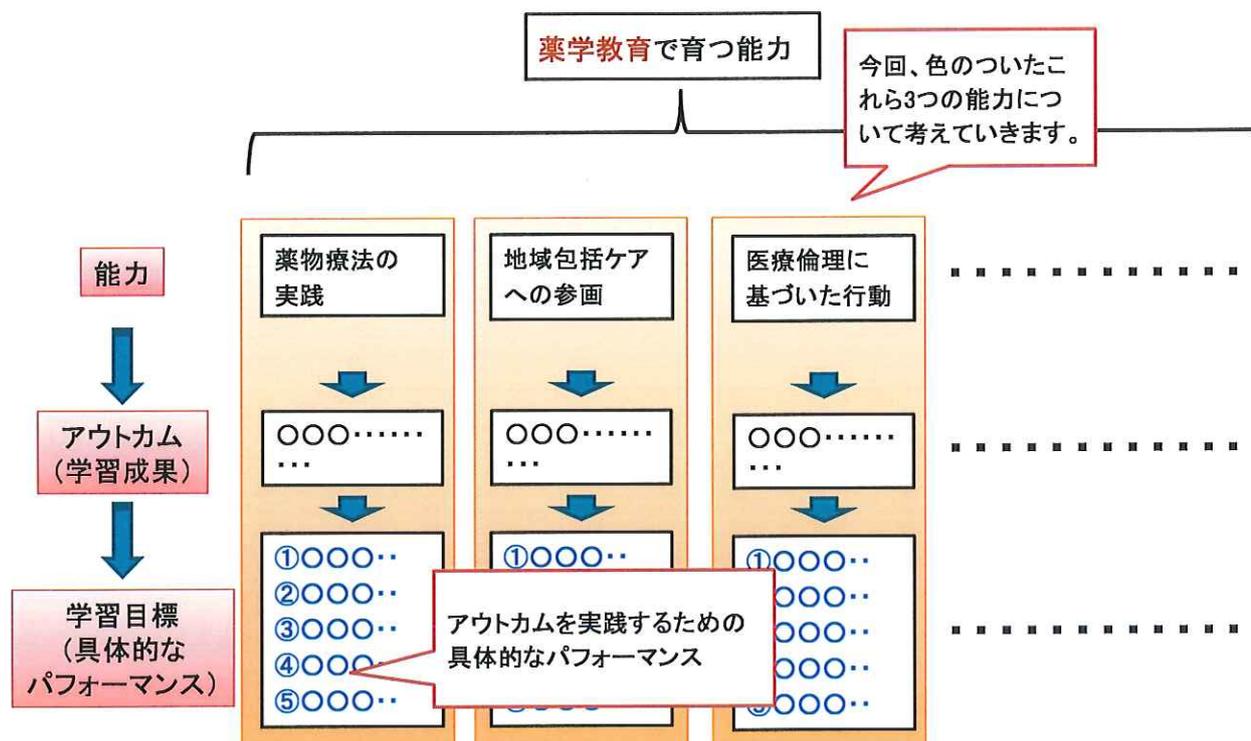
### 学習成果基盤型教育 (Outcome-based Education (OBE)) におけるカリキュラム作成の流れ

「よい薬剤師とは？」という疑問から始めて  
教育を終えたときに学生が修得していると期待される「**能力**」を  
設定し「**アウトカム(学習成果)**」を定義する。このアウトカムから  
「**学習目標(具体的なパフォーマンス)**」を考える。

学生がそのアウトカムに到達したか否かを  
**評価する方法と基準**を決める。

学生がパフォーマンスを実践できる**方略(学習環境)**を考える。

## 薬学教育を終えたときに学生が修得していると期待される 「能力」を観察可能にするアウトカムと学習目標の設定



## これからの作業

1. 3役(司会・発表・記録)を決める。
2. 「薬物療法の実践」or「地域包括ケアへの参画」or「医療倫理に基づいた行動」のいずれかの能力について、アウトカムを作成する。
3. そのアウトカムについて、学習目標を3~5個作成する。

**【能力】薬物療法の実践**

関連能力:「地域包括ケアへの参画」、「医療倫理に基づいた行動」……など

【アウトカム】〇〇〇〇〇……………

……………

**【学習目標】**

1. △△△△……………

2. □□□□……………

3. ◇◇◇◇……………

4. ○○○○……………

5. ◎◎◎◎……………

わかりやすいように  
文章で!

能力「タクシードライバーに求められる運転能力」についての  
アウトカムと学習目標のプロダクト(例示)

**【能力】タクシードライバーに求められる運転**

【アウトカム】乗客を安全・快適に輸送する。

**【学習目標】**

1. 人の命を預かり、公共の保安を担っていることを意識し、交通ルールを遵守して安全運転を行う。
2. 自分の営業管区内の環境、地理を把握し、それに合わせた最善の判断に基づき運転をする。
3. 乗客に応じた適切なコミュニケーションをとり、乗客の意思を尊重し、快適な運行を行う。
4. 天災や事故情報等の把握に努め、遅延回避、安全運行のために的確に対応する。
5. 緊急事態に遭遇した場合は、的確・迅速に判断し、最善の対応をすると共に、公共の利に資する行動をする。

## 学習目標を設定する際の注意事項

1. 「パフォーマンス」という概念で学習目標を捉えてください。
  2. パフォーマンスを表すことを明確に意識して作ってください。
  3. 学生が素敵に力強く振る舞う姿を思い描いて作ってください。
- 

このセッションの作業時間は、  
75分

発表	4分
討論	3分